

必佐小学校の福祉教育

必佐小学校では、「身近な福祉問題への関心を持ち、支え・支えられている自分の存在に気付くことで、共生や社会連帯の心を養う。」を目標にし、相手へのいたわりや思いやる心を持つ子ども、自然や命を大切にする子ども、仲間や社会のために自ら積極的に活動できる子どもを目指して、様々な学習に取り組んでいます。

1年《伝承遊びを楽しもう》

地域の方に手伝ってもらいながら竹ぼっくりを作ったり、こま回しや竹馬など昔から伝わる遊びを教えてもらったりして、楽しく過ごしました。



2年《1年生との交流》

4月、新1年生に校舎内を案内しながら各教室を紹介したり、2学期には、手作りおもちゃで遊んでもらうおもちゃランドに招待したりしました。



3年《昔のくらしを調べよう》

必佐地域の方々に来ていただき、昔のくらしについて学び、七輪を使って餅焼き体験をしました。

《福祉学習》

ボッチャ体験、パラスポーツ選手の講演



4年《福祉学習》

話を聞いたり、アイマスクの体験をしたりしながら、視覚障害や聴覚障害に対する理解学習をしました。



5年《車いす体験》

びわこ学院大学の講師と学生の方に来ていただき、話を聞いたり、車いすの体験をしたりしました。



6年《車いすバスケットボール体験》

競技用の車いすの特長や使い方、車いすバスケットボールのルールなどを教わり、体験しながら楽しさを味わうことができました。

